



2024年2月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年7月13日

上場会社名 株式会社 アルバイトタイムス
コード番号 2341 URL <https://www.atimes.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 堀田 欣弘
問合せ先責任者 (役職名) 取締役コーポレート本部長 (氏名) 金子 章裕
四半期報告書提出予定日 2023年7月14日
配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
TEL 03-5524-8725

(百万円未満切捨て)

1. 2024年2月期第1四半期の連結業績(2023年3月1日～2023年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年2月期第1四半期	1,112	7.4	54	568.3	58	342.4	39	331.9
2023年2月期第1四半期	1,035	16.7	8		13		9	

(注) 包括利益 2024年2月期第1四半期 39百万円 (295.6%) 2023年2月期第1四半期 9百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年2月期第1四半期	1.53	
2023年2月期第1四半期	0.34	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年2月期第1四半期	4,771	4,094	85.8	162.65
2023年2月期	4,809	4,212	87.6	163.96

(参考) 自己資本 2024年2月期第1四半期 4,094百万円 2023年2月期 4,212百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年2月期		0.00		3.00	3.00
2024年2月期					
2024年2月期(予想)		0.00		3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年2月期の連結業績予想(2023年3月1日～2024年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,401	8.8	70	27.5	72	6.6	67	53.7	2.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年2月期1Q	31,537,249 株	2023年2月期	31,537,249 株
期末自己株式数	2024年2月期1Q	6,364,067 株	2023年2月期	5,844,067 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年2月期1Q	25,554,922 株	2023年2月期1Q	26,269,495 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う行動制限が段階的に緩和され、旅行や外食等に対する個人消費の回復を受け、緩やかながらも景気回復の動きが見られました。しかしながら、ウクライナ情勢の長期化やエネルギー、資源の高騰など不透明な状態が続いております。

このような経済環境下、雇用情勢については、個人消費回復の動きを受け飲食業、サービス業の採用活動に回復の動きが見られており、当社の戦略地域である静岡県においては2023年5月の有効求人倍率が前年同月比0.02ポイント下降の1.26倍となり、緩やかながらも雇用環境は回復に向かいつつある状況であります。

このような状況において当社グループでは、採用管理システムを顧客に提供する『ワガシャ de DOMO』の拡販施策やオプション商品の開発を継続いたしました。販売拡大、商品価値向上のための成長コストとして人件費（前年同四半期比3.4%増）、広告販促費（前年同四半期比7.2%増）を投入いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループの連結業績は、売上高は1,112百万円（前年同四半期比7.4%増）となりました。売上原価は337百万円（前年同四半期比4.2%増）、販売費及び一般管理費は720百万円（前年同四半期比2.4%増）となりました。前年同四半期と比較して増収分が寄与し、営業利益は54百万円（前年同四半期比568.3%増）、経常利益は58百万円（前年同四半期比342.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は39百万円（前年同四半期比331.9%増）となりました。

セグメント別の業績（セグメント間の内部取引消去前）を示すと、次のとおりであります。

（情報提供事業）

情報提供事業では、マッチング手法の多様化により求人広告メディアの売上は下げ止まりとなっているものの、採用管理システムを顧客に提供する『ワガシャ de DOMO』（サブスクリプション型課金モデル）の販売は着実に拡大しており、売上高は962百万円（前年同四半期比10.9%増）、セグメント利益は221百万円（前年同四半期比24.8%増）となりました。

（販促支援事業）

販促支援事業では、主たる売上であるフリーペーパーの取次において、顧客の販売促進費の圧縮傾向は継続しているなか、イベント・レジャー関連企業の集客活動は緩やかながらも回復しつつあるものの、販促支援事業における売上高は一部サービスの会計処理の見直しもあり155百万円（前年同四半期比10.3%減）、セグメント利益は16百万円（前年同四半期比1.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の財政状態は、総資産が4,771百万円（前連結会計年度末比0.8%減）、負債が676百万円（前連結会計年度末比13.4%増）、純資産が4,094百万円（前連結会計年度末比2.8%減）となりました。また、自己資本比率は85.8%となりました。

資産の部では、流動資産が3,500百万円（前連結会計年度末比1.7%減）となりました。これは、現金及び預金が2,978百万円（前連結会計年度末比1.9%減）、売掛金が387百万円（前連結会計年度末比11.9%減）等となったためです。

固定資産は1,270百万円（前連結会計年度末比1.9%増）となりました。これは、有形固定資産が559百万円（前連結会計年度末比0.5%減）、無形固定資産が524百万円（前連結会計年度末比8.5%増）、投資その他の資産が186百万円（前連結会計年度末比7.3%減）となったためです。

負債は676百万円（前連結会計年度末比13.4%増）となりました。これは、未払金が393百万円（前連結会計年度末比15.8%増）、賞与引当金が55百万円（前連結会計年度末比40.6%減）等となったためです。

純資産は4,094百万円（前連結会計年度末比2.8%減）となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上、剰余金の配当により利益剰余金が4,212百万円（前連結会計年度末比0.9%減）、自己株式の取得により自己株式が1,112百万円（前連結会計年度末は1,034百万円）等となったためです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年2月期業績予想につきましては、2023年4月13日に公表いたしました業績予想を修正いたしません。

なお、今後の業績の推移に応じて修正の必要が生じた場合には、速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,034,559	2,978,100
売掛金	439,993	387,458
その他	88,427	135,095
貸倒引当金	△639	△528
流動資産合計	3,562,341	3,500,126
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	103,887	102,185
土地	444,475	444,475
その他(純額)	14,488	13,147
有形固定資産合計	562,850	559,808
無形固定資産		
ソフトウェア	472,993	514,277
その他	10,606	10,606
無形固定資産合計	483,599	524,884
投資その他の資産		
その他	206,988	189,143
貸倒引当金	△6,137	△2,883
投資その他の資産合計	200,850	186,260
固定資産合計	1,247,301	1,270,953
資産合計	4,809,643	4,771,079
負債の部		
流動負債		
未払金	340,056	393,682
賞与引当金	93,504	55,568
その他	155,242	217,139
流動負債合計	588,803	666,390
固定負債		
リース債務	7,945	6,961
株式給付引当金	—	3,150
固定負債合計	7,945	10,111
負債合計	596,748	676,501
純資産の部		
株主資本		
資本金	455,997	455,997
資本剰余金	538,374	538,374
利益剰余金	4,252,262	4,212,235
自己株式	△1,034,186	△1,112,415
株主資本合計	4,212,447	4,094,193
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,989	2,989
為替換算調整勘定	△2,543	△2,604
その他の包括利益累計額合計	446	384
純資産合計	4,212,894	4,094,577
負債純資産合計	4,809,643	4,771,079

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2022年3月1日 至2022年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2023年3月1日 至2023年5月31日)
売上高	1,035,740	1,112,719
売上原価	324,217	337,690
売上総利益	711,522	775,028
販売費及び一般管理費	703,343	720,368
営業利益	8,178	54,660
営業外収益		
受取利息	12	326
受取賃貸料	210	210
為替差益	3,090	3,435
その他役務収益	2,561	9,022
その他	1,933	1,389
営業外収益合計	7,808	14,383
営業外費用		
支払利息	42	31
その他役務費用	2,056	10,082
その他	591	97
営業外費用合計	2,689	10,211
経常利益	13,297	58,833
税金等調整前四半期純利益	13,297	58,833
法人税、住民税及び事業税	709	3,456
法人税等調整額	3,481	16,046
法人税等合計	4,191	19,503
四半期純利益	9,105	39,329
親会社株主に帰属する四半期純利益	9,105	39,329

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年5月31日)
四半期純利益	9,105	39,329
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	821	△61
その他の包括利益合計	821	△61
四半期包括利益	9,926	39,268
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,926	39,268

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第1四半期連結累計期間(自 2022年3月1日 至 2022年5月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2022年5月26日 定時株主総会	普通株式	81,456	3	2022年2月28日	2022年5月27日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

当社は、当第1四半期連結会計期間において、2022年4月14日開催の取締役会決議に基づき、自己株式の取得を行いました。この結果、当第1四半期連結会計期間において、自己株式が65,687千円増加し、当第1四半期連結会計期間末において1,127,936千円となっております。

当第1四半期連結累計期間(自 2023年3月1日 至 2023年5月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2023年5月25日 定時株主総会	普通株式	79,356	3	2023年2月28日	2023年5月26日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

当社は、当第1四半期連結会計期間において、2023年4月13日開催の取締役会決議に基づき、自己株式の取得を行いました。この結果、当第1四半期連結会計期間において、自己株式が78,228千円増加し、当第1四半期連結会計期間末において1,112,415千円となっております。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。

なお、これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

(役員に対する業績連動型株式報酬制度)

当社グループは、2021年4月8日付取締役会において、当社取締役（社外取締役を除きます。）の報酬と当社の株式価値との連動性をより明確にし、取締役が株価の変動による利益・リスクを株主の皆様と共有することで、中長期的な業績の向上と企業価値の増大に貢献する意識を高めることを目的として、株式報酬制度（以下、「本制度」といいます。）の導入を決議し、2021年5月25日開催の第48回定時株主総会において承認決議されました。

(1) 取引の概要

本自己株式処分は、本制度導入のために設定される信託（以下「本信託」といいます。）の受託者である三井住友信託銀行株式会社（信託口）（再信託受託者：株式会社日本カストディ銀行（信託口））に対して行うものであります。本信託を通じて、当社取締役（社外取締役を除きます。）に対し、当社が定める株式給付規程に従って、役位、業績達成度等に応じて当社株式を給付する業績連動型株式報酬制度であります。なお、役員が当社株式の給付を受ける時期は、原則として取締役の退任時となります。

(2) 信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額（付随費用の金額を除く。）により純資産の部に自己株式として計上しております。当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、当第1四半期連結会計期間末125,994千円、759千株であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年3月1日 至 2022年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	情報提供	販促支援	計		
売上高					
求人誌『DOMO』	257,054	—	257,054	—	257,054
ワガシヤ de DOMO	356,314	—	356,314	—	356,314
インストアメディア事業	—	117,744	117,744	—	117,744
その他	253,832	50,793	304,626	—	304,626
顧客との契約から生じる収益	867,202	168,538	1,035,740	—	1,035,740
外部顧客への売上高	867,202	168,538	1,035,740	—	1,035,740
セグメント間の内部売上高 又は振替高	115	4,345	4,460	△4,460	—
計	867,317	172,884	1,040,201	△4,460	1,035,740
セグメント利益	177,055	16,482	193,538	△185,359	8,178

(注) 1. セグメント利益の調整額△185,359千円は、セグメント間取引消去1,119千円及び全社費用△186,479千円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年3月1日 至 2023年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報
(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	情報提供	販促支援	計		
売上高					
求人誌『DOMO』	237,206	—	237,206	—	237,206
ワガシヤ de DOMO	421,304	—	421,304	—	421,304
インスタメディア事業	—	113,408	113,408	—	113,408
その他	303,490	37,309	340,800	—	340,800
顧客との契約から生じる収益	962,001	150,717	1,112,719	—	1,112,719
外部顧客への売上高	962,001	150,717	1,112,719	—	1,112,719
セグメント間の内部売上高 又は振替高	44	4,294	4,338	△4,338	—
計	962,045	155,011	1,117,057	△4,338	1,112,719
セグメント利益	221,019	16,731	237,750	△183,090	54,660

(注) 1. セグメント利益の調整額△183,090千円は、セグメント間取引消去1,119千円及び全社費用△184,209千円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。